

デンカ広報誌「The Denka Way」(2024 Spring号)を発行 ～ “国内最大”ケミカルリサイクルプラントが稼働&デンカが取り組む“DX人財”～



デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井 俊夫）は、本日、広報誌「The Denka Way」(2024 Spring号)を発行しましたので、お知らせいたします。本誌は、あらゆるステークホルダーに対して、デンカの認知向上と理解促進を通して企業価値を伝えることを目的とし、デンカグループの方針や目指す方向性、財務・非財務分野の取り組みを紹介する広報誌です。

当社は、経営計画「Mission 2030」のもと、ケミカルリサイクルの社会実装コンソーシアム確立を目指して、スチレン系包装材料のサーキュラーエコノミー推進に取り組んでいます。その実現のための施策として稼働開始した、デンカ千葉工場内の「ポリスチレンケミカルリサイクルプラント」について特集しています。

また、非財務分野では、社内デジタル人財の育成を実現するべくスタートした「デジタル活用したDXの推進に向けた人財育成プログラム」の概要を紹介しています。

主な特集・記事内容は、以下の通りです。本誌は、印刷物としての発行のほか、デンカ企業ホームページからどなたでも閲覧可能です。

【主な特集・記事内容】

◆Special Feature.1 事業価値創造「千葉工場稼働開始 ポリスチレンケミカルリサイクル」

- ・千葉工場稼働開始 ポリスチレンケミカルリサイクル
- ・ポリスチレンのケミカルリサイクルシステムとは
- ・ポリスチレンの循環利用について

◆Special Feature.2. 経営価値創造「デジタル活用したDXの推進に向けた人財育成プログラム」

- ・デジタル活用したDXの推進に向けた人財育成プログラムがスタート
- ・デジタル活用・DX推進を牽引する存在を目指して
- ・デジタル活用・DX Q&A
- ・日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員 エバンジェリスト 西脇 資哲氏インタビュー
「DX人財の存在がデンカの新たな価値を生み出す」

◆新任執行役員紹介

- ・4月1日付で、新たに就任した新任執行役員3名を紹介

【読みどころ】

- **Special Feature.1** では、経営計画「Mission 2030」の注力施策のひとつであるケミカルリサイクルについてクローズアップ。使用済みプラスチックの再資源化による脱炭素・循環型社会の構築と、温室効果ガスの削減に貢献するデンカの挑戦を紹介しています。また、公民連携で取り組む回収の仕組みの確立やリサイクルコストの低減などの課題解決に向けた取り組みを掲載しています。
- **Special Feature.2** では、経営計画「Mission 2030」の柱の一つである経営価値創造において、社内のデジタル活用を先導する人財を育てるべくスタートした「デジタル活用・DX 推進に向けた人財育成プログラム」を特集。本取り組みの目的、人財育成ロードマップについて掲載しています。合わせて、デジタル活用や、DX にまつわる疑問を Q&A で分かりやすく紹介しています。

【閲読・閲覧方法】

- 冊子
ご希望の方は、「報道関係者からのお問い合わせ先」にご連絡をください。
送付させていただきます。
- WEB（デンカ企業ホームページ 広報誌「The Denka Way」閲覧ページ）
<https://www.denka.co.jp/corporate/thedenkaway/>
※過去の発行号も、上記からご覧いただけます。

デンカはこれからも、「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる」というパーパスのもと、世界に誇れる化学で、人々の暮らしと社会に貢献し続けます。

以 上

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話:03-5290-5511
